



# 「京都が好き」 の、その先へ。

見方を知ったら、  
京都の景色がもっと好きになった。  
そして、この景観を  
支える人たちがいる。



2026年6月開講  
京都景観エリアマネジメント講座

「景観まちづくり」を  
体系的に理解する全8回のカリキュラム

講義 ワークショップ フィールドワーク [詳細は中面へ!](#)



知る

体験する

つな  
繋がる

# 3つの柱で 景観とまちづくりを学びます

POINT  
1

景観を守り続けるまち、京都で  
景観と人、文化のつながりを学ぶ

POINT  
2

バラエティ豊かな各分野の  
プロフェッショナルの講義が一度に  
受けられるのは、全国でも本講座だけ

POINT  
3

実際に地域を歩き、見て、調べ、  
「景観」を読み解くスキルを学ぶ

POINT  
4

ワークショップやフィールドワーク  
体験を通じて多様な仲間と交流

POINT  
5

実践講座に進んで  
京都景観エリアマネージャーを目指す



まずは  
ここから!

基礎講座

実践講座

京都景観エリアマネージャー

## 地域主体の景観まちづくり活動への参加

- ・景観まちづくりのコーディネート・アドバイス
- ・プロジェクトチームを組んで景観まちづくりをサポート
- ・修了生同士のネットワーク・交流

基礎講座を受講された方は、身につけた力をいかしていくための手法を学ぶ「実践講座」の受講が可能となります\*1。基礎講座・実践講座の両講座を修了すると「京都景観エリアマネージャー」としての認定を受けられ、修了生同士でプロジェクトチームを組んで地域をサポートしたり、ネットワークを生かして交流を深めています。講座で学んだことを生かし、京都景観エリアマネージャーとしての活躍を目指してみませんか？

\*1 実践講座の受講には、規定回数(全科目の半分)以上の基礎講座の受講が必要となります。

## こんな方々が受講しています

- ・景観やまちづくりについての基礎を学び、仕事にいかしたい行政関係者・建築業・不動産業などの方  
(本講座は建築士会のCPDプログラムとして認定されています)
- ・建築や都市計画、社会学などを学ぶ学生の方
- ・自身の経験や知識を活かして景観まちづくり活動に取り組んでみたい方
- ・京都のまちが好きな方、京都の歴史や文化に興味がある方

## 受講実績 (2026年2月現在)

基礎講座受講者数： **363** 名 (通年受講のみ、単回受講者を除く)  
 実践講座受講者数： **157** 名  
 京都景観エリアマネージャー登録者数： **94** 名

本講座の講義科目は建築士会のCPDプログラムに認定されています。各講義の所要時間により単位数(1~4単位)が設定されており、全講義科目の受講で計28単位が取得できます。

京都景観エリアマネージャー

# インタビューMOVIE

本講座の修了生である京都景観エリアマネージャーにインタビューを実施しました。受講のきっかけや、学んだことがどう役立ったかなど、リアルな声を3分動画でチェックできます！

[インタビュー動画一覧はこちら](#)



# 2026年度 基礎講座カリキュラム

講義科目 実習科目

※実習科目は通年受講者のみ対象

		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19〔時〕
第1回	6月13日(土) 10:00~17:00 基礎理論1 / 景観を学ぼう!	<オリエンテーション>10:00~12:00 (昼休憩)			<講義>13:00~17:00 堀 繁 氏						
第2回	7月25日(土) 10:00~16:30 基礎理論2 / 景観と都市形成	<講義①>10:00~12:00 宗田 好史 氏 (昼休憩)			<講義②>13:00~15:00 中嶋 節子 氏		<Workshop1>15:00~16:30 “語り合う”~わたしの好きな景観~				
第3回	9月12日(土) 10:00~16:30 まちとまちなみ	<Workshop2>10:00~12:00 “計画を立てる”~まち歩き事前調査~ (昼休憩)			<講義①>13:00~14:45 森重 幸子 氏		<講義②>14:45~16:30 魚谷 繁礼 氏				
第4回	10月17日(土) 10:00~16:30 公共空間のデザイン	<講義①>10:00~12:00 川崎 雅史 氏 (昼休憩)			<Fieldwork>13:00~16:30 “全身で感じる”~京都景観まち歩き~						
第5回	11月14日(土) 10:00~18:00 資源を活かしたまちづくり	<Workshop3>10:00~14:15 “景観を考える”~まちの景観特性とは?~ (昼休憩)			<講義①>14:15~16:10 深町 加津枝 氏		<講義②>16:10~18:00 村上 佳代 氏				
第6回	12月19日(土) 13:00~18:30 京の生活文化 ※開始時刻が他の回と異なります				<講義①>13:00~15:00 町田 香 氏		<講義②>15:00~17:00 桐浴 邦夫 氏		<講義③>17:00~18:30 笹岡 隆甫 氏		
第7回	2027年1月23日(土) 10:00~17:00 観光再生における景観マネジメント	<講義①>10:00~12:00 阿部 大輔 氏 (昼休憩)			<Workshop4>13:00~17:00 特別講義“先輩エリマネの活動を知る”						
第8回	2027年2月20日(土) 14:00~17:00 景観まちづくり ※開始時刻が他の回と異なります				<講義>14:00~16:00 高田 光雄 氏		修了式				

## 講義 + 実習 で叶える充実の学び

### ワークショップ

意見を出し合い協力し、  
体験しながら、学びや  
気づきが得られます

講座やフィールドワークで得た知見をもとに自ら考えたり発信したりするため、そのテーマについて理解を深めることができます。



### フィールドワーク

座学や書物では出会えない  
情報に触れることができます

「景観」をテーマに京都のまち歩きを行います。自分の五感を使って新しい知見を集めることができ、刺激や発見が得られます。



さまざまな出会いが  
待っています!

### 懇親会

講師や学ぶ仲間との  
交流の機会



各回の講義の後、自由参加の懇親会が開かれることも。講師が参加される場合もあります。自由な意見交換、交流の場として好評です。

※懇親会参加費は別途



# 「景観」をさまざまな視点から解き明かす 多彩な講義内容・講師陣

景観理論から景観まちづくり、京の文化まで、  
豊かな目線を養う13の講義を展開しています。  
各講義・講師の詳細はQRコードからチェック！



2026年度  
講座紹介サイト

単回受講もOK!

受けたい講義だけ  
受講することもできます  
(4,000円/回)  
※第1回のみ6,000円



(一社)まちの魅力づくり研究室理事  
東京大学名誉教授  
堀 繁 氏

## 景観を学ぼう！ —基礎理論からまちづくりまで—

「街並と街並景観は同じ」でしょうか？好みやセンスが違うから「景観の良し悪しは人次第」でしょうか？そもそも「良い景観って何」でしょうか？景観を良くするには高い材料を使わなければならない、したがって「景観整備はお金がかかる」でしょうか？このような景観の疑問にすべてお答えします。



関西国際大学教授  
京都府立大学名誉教授  
宗田 好史 氏

## 歴史都市京都の未来 —これからの景観マネジメント

京都の景観政策も20年以上がたち、美しくなった町並みを世界中の人々が愛でています。都市の歴史文化は大切ですが、その町の景観づくりができないと、人々に理解されず、価値に相応しい敬意も感じられません。初めて訪れる人々も自ずと襟を正す景観づくりが観光の持続性には不可欠だといえます。景観の意味を再確認します。



京都大学大学院教授  
中嶋 節子 氏

## 近代の京都と景観 —歴史から『京都らしい景観とは何か』を考える

京都のアイデンティティとして発見された景観は、社会的、経済的、文化的なプログラムとして創造、継承、変容してきました。人の営みを通じた京都のまちの変遷から、歴史都市の景観に対する視座を高めます。



京都美術工芸大学教授  
森重 幸子 氏

## 社会の動きや制度と京都のまち・すまい —京都の町家や路地をどう活かすのか

変わり続けるまちの中で、住まいづくり、まちづくりに関わる個性あふれる方々との出会いと、丁寧に使いこなされるひそやかな空間の発見が、京都に暮らす尽きせぬ楽しみです。まちづくり活動や改修事例など、実例を交えてお話しします。



京都工芸繊維大学教授  
魚谷繁礼建築研究所代表  
魚谷 繁礼 氏

## 歴史都市における地域計画と建築計画 —歴史都市で何をいかに継承するか

大学では学生らと、京都を中心に主にアジアの歴史都市の都市構造の現況と変容について調査研究しています。今回の講義では、建築の実例も紹介しながら、皆さんと景観ということについて考えたいと思います。



京都大学大学院教授  
川崎 雅史 氏

## 都市と公共空間の景観デザイン

道や広場、水辺などの公共空間に目を向けながら、都市の景観が生まれる仕組みとその可能性を、多様な視点から考えます。身近なまちの未来を一緒に想像していきましょう！



京都大学大学院准教授  
深町 加津枝 氏

## 京都の自然を活かした景観マネジメント —嵐山を事例に景観マネジメントを考える

京都には場所ごとに異なる豊かな自然があります。京都の自然はどのような特徴があるのか、そして長年にわたり自然と深く結びついてきた景観をこれからに活かす上で必要なことは何か、具体的な事例とともに学びましょう。



文化庁 文化財調査官  
村上 佳代 氏

## 文化財を活かした観光まちづくり —文化財保護の立場から考える観光や活用

景観や都市を考える上で、「歴史文化」は地域固有のもので、とても重要な要素です。「歴史文化」を活かした観光や活用を文化財保護部局がどのように考えながら進めているのか、文化庁職員が全国の事例を紹介します。



京都芸術大学准教授  
町田 香 氏

## 生活文化と日本庭園 —庭園と景観との関わりを考える

歴史をひもとくと庭園が人間の生活にとって身近なもので、さらに庭園は周辺の景観とつながり、景観をつくっていたことがわかります。この講義では、現代にも残っている景観—庭園—生活のつながりを歴史の側面からお伝えしたいと思います。



京都建築専門学校副校長  
桐浴 邦夫 氏

### 「わびすき」と「きれいさび」からみた 茶の湯空間

一般に自然と建築(人為的なもの)は相反するものと考えられますが、茶室は建築であり自然を写したものです。茶室のことに思いをはせ、景観を考える上での参考にしていただければと思います。



華道「未生流笹岡」家元  
笹岡 隆甫 氏

### 伝統文化から受け継ぐ美意識

いけばなの背景には、人間を自然の一部とみなす日本独特の自然観があります。自然と対立し自然を屈服させるのではなく、自然に融け込むように暮らしてきた日本人は、生活の中に四季の移ろいを巧みに取り込み、いけばなという美しい文化を生み出しました。



龍谷大学教授  
阿部 大輔 氏

### 観光再生における景観マネジメント

—都市デザインから見たオーバーツーリズムとは  
観光やオーバーツーリズムといった現象を、都市空間がどのように変化するかという視点から捉え、にぎわいと日常の共存をどのようにデザインできるのかについて考えます。



京都美術工芸大学教授  
京都大学名誉教授  
高田 光雄 氏

### 景観政策における「まちづくりアプローチ」 —まちなかの景観形成と地域コミュニティ

京都のまちの成り立ちや地域コミュニティを基本原理から探究し、その現代的意義を再確認するとともに今後進むべき道程を一緒に考えましょう。

## 実習科目の学び

「仲間と協働する」力、  
「地域を読む」力を身に付ける。

#### ■Workshop1

一緒にグループ活動を行うメンバー間での自己紹介。テーマは「わたしの好きな景観」です。

#### ■Workshop2

グループで行う次回のまち歩きに向けた事前調査を行います。ひとつの地域の中にも様々な景観があるんです。

#### ■Feildwork

実際に外に出て、みんなで地域を歩きながら景観の特徴を考えます。全身で景観を感じてください。

#### ■Workshop3

まち歩きから考えた景観特性の成り立ちを議論します。今までとは違った景観の見方を体験してください。

#### ■Workshop4

グループワーク最終回!先輩エリマネの皆さんが実際に行っている活動について紹介していただきます。

## 受講生の声

社会人から学生、シニア世代まで、  
幅広い層の方々が受講しています。



### “景観”の新たな視点を学び、 共感できる仲間とつながりました

実践講座 第12期修了生  
京都景観エリアマネージャー  
山本 恭子 さん

定年退職後に、田舎暮らしをしようと決めていました。田舎の景観をどう捉えるのかを知りたくて受講しました。「目から鱗」の基礎理論に始まり、講義の内容は深くて広いです。「景観」を取り巻く制度や歴史、生活文化など多岐にわたるテーマの座学は、各分野の専門家の講師がわかりやすく、熱意を持って語ってくださいます。「良い景観」は「誰もが居心地が良く、美しいと思える空間」とわかりました。また、まち歩きを通してのワークショップは、多様なメンバーと語り合うことで異なる視点を発見でき、多くの気づきを得ました。現在は、田舎への移住を果たし、里山をフィールドに地域活性化に向けて仲間と活動しています。



### 「景観まちづくり」の 活動者となるきっかけ

実践講座 第14期修了生  
京都景観エリアマネージャー  
牧 圭亮 さん

講座修了後、グループワークで協働した仲間とともに地域に出て「景観まちづくり」活動を始めました。受講前には想像していなかった展開で、ひとりでは始められなかった活動です。基礎・実践講座では、景観の理論を学び、地域の歴史や文化を知り、課題を発見し、課題解決に向けた提案を行います。そして講座終了後、提案を実践に移した次第です。「自分たちの活動の痕跡が、共同体の未来にとっての財産、風景の一部になる。」という希望を持って活動しています。みなさんの今の想いを、この講座の受講によって一歩前に進めてみてください。さまざまな偶然の出会いで、「未来の景観」に寄与できると思います。



### 京都の景観の見方が 大きく変わりました

実践講座 第15期修了生  
京都景観エリアマネージャー  
平井 愛生 さん

大学では建築・都市計画論の研究室に所属しています。以前は景観というものは、条例などによって制限される消極的なものだと思っていました。ですが、講座を通して「コミュニティの強いところに良い景観がある」と知り、まちづくりへの価値観として京都の景観の見方が大きく変わりました。また、学生ならではの感想かもしれませんが、カリキュラムにはグループワークも多く、色々なお仕事をされている社会人の先輩のそれぞれの景観まちづくりへの取り組み方をお聞きすることができて、大学卒業後の進路の選択肢の視野を増やすことができました。

# 京都の景観を、 私たちの手で、 未来へつなぐ。

京都景観フォーラムは、生活文化や生業から生まれる  
”その地域固有の景観”を次世代へつなぐため、  
地域を想うすべての人々が”協創”していくことを目指しています。

地域支援  
活動

サポーター  
育成

ネットワーク  
形成

京都景観フォーラムの活動の3つの柱

私たちのまちを、私たちが育てる。

## 会場 京都市景観・まちづくりセンター

ひと・まち交流館 B1階ワークショップルーム

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1

【バス】市バス4、7、205号系統「河原町正面」下車すぐ

【電車】地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分 / 京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分

## 定員 40名 (定員に達し次第締め切り)

※各回の講座のテーマや内容は変更されることがあります。

## 受講料 ①通年受講…全13講義・ワークショップ4回／フィールドワーク1回

※出席できなかった回は次年度に無料で受講できます。

一般 48,000円 / NPO会員 43,000円 (年会費3,000円で新規会員登録可)

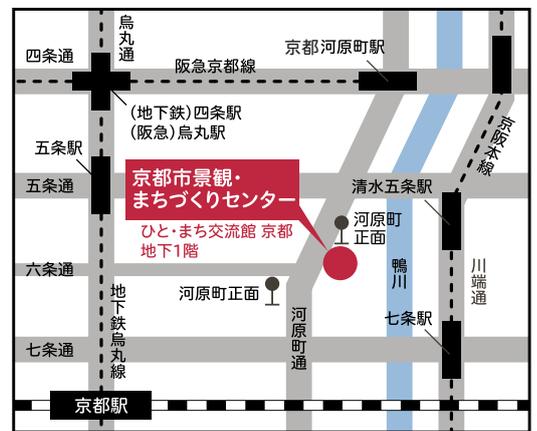
## ②単講義受講…講義科目に限り、お好きな講義を選んで受講できます。

※実習科目へは参加できません。

1講義あたり 4,000円 (第1回の講義のみ6,000円)

●通年受講の方は指定の口座に受講料をお振り込みください(口座はお申し込み後にお知らせいたします)。

●単講義受講の方は講座受講当日に受講料をお持ちください。



**学割あり** 学生(大学院、大学、専門学校など)は通年受講・単講義受講ともに**半額**で受講できます!

[<お申込みはこちらから>  
お申込みフォーム](#)



お申込みフォームがご利用いただけない方はメールにて下記の内容をお送りください。

メール送付先: [kkf@kyotokeikan.org](mailto:kkf@kyotokeikan.org)

①氏名・よみがな ②住所(郵便番号から) ③電話番号

④メールアドレス ⑤ご所属(勤務先、学校名など) ※学生の方はその旨ご記載ください

⑥通年受講or単講義受講(単講義受講の場合は受講を希望する講師名)

⑦NPO会員(新規入会)orNPO会員(継続)or非会員 ※NPO会員となるには年会費3,000円が必要です。